

介護施設入所中および一般病院入院中の認知症者に対する新型コロナウイルス感染症の与える影響に関する調査研究事業（概要）

【目的】

介護施設入所中および一般病院入院中の認知症者に対する新型コロナウイルス感染症の与える影響に関して実態調査を行うとともに、好ましくない影響を軽減する方策についても調査・検討を行う。

【方法】

- (1) 実態調査の内容・方法の検討：委員会を組織し、調査の内容・方法につき検討を行う。
- (2) 調査を実施する。
- (3) 調査の結果を踏まえ、その結果について委員会で検討を行い、推奨できる方策の提案をとりまとめる。

【結果および考察】

- (1) 介護老人保健施設、介護老人福祉施設、認知症グループホームへの調査
 - ①新型コロナウイルス感染予防のための家族との面会制限と外出・外泊制限が認知症の人の認知機能、日常生活機能、精神的安定、運動機能、家族の安心感に好ましくない影響を与えたと答えた事業所が多かった。
 - ②好ましくない影響を避けるための取り組みとしては、オンライン面会やガラス越しの面会が多く行われ、認知症の人の認知機能維持、精神的安定、家族の不安緩和に有効であるとの回答が多かった。認知症の人はオンライン端末の画面に家族が映っていることを認識しにくい、ガラス越しの面会では声が聞こえにくいとの記述も多かった。PCR陰性・ワクチン接種済みなどの条件付きの対面面会を実施した事業所もあり、有効との回答がオンライン面会やガラス越しの面会よりも多かった。個別又は少人数での身体的リハビリテーション、認知リハビリテーションともに認知機能・日常生活機能・運動機能・精神的安定に有効であるとの回答が多かった。
- (2) 救急告示病院への調査
 - ①新型コロナウイルス感染症専用病床を有する病院では81%で、認知症があり新型コロナウイルス感染症を来した患者の入院診療を行ったと回答した。
 - ②認知症のある新型コロナウイルス感染症患者への対応に関しては「病院スタッフが患者の不安や混乱を取り除くように努める」「病院スタッフが患者に繰り返し説明する」が多かったが、「身体拘束」「薬物による鎮静」「自力で部屋から出られないようにする」といった対応も一定程度みられた。
 - ③感染予防対策としては家族との面会制限、外出・外泊制限が最も多かった。好ましくない影響を避けるための取り組みではオンライン面会、電話での通話が多かった。